

12分区、13分区合同職業奉仕委員会セミナーについての報告

ロータリー情報、職業分類委員会：高橋 修委員長

8月9日流山の茶豆蘭において2790地区職業奉仕委員長、海寶委員長をお招きして12・13分区の職業奉仕委員長会議が開催されました。今年度、得居ガバナーの要望事項である【職業奉仕の更なる推進】に関して今後各地区で開催される情報研究のテーマである「職業奉仕に生きること・話し合い・語り合おう」についての事前研究会が行われました。初めて13分区、野田、流山のロータリアンとも親しく会話ができ、新鮮な思いで議論をすることが出来ました。川上ガバナー補佐、各クラブの会長、幹事、委員長総勢35名でロータリアンとして一番難しい職業奉仕についての議論をグループに分かれて熱い議論を行いました。

私なりに考えたことは、会員個人個人が自分の職業の質を高めること、道徳心を高揚させること、これを自分の職業に反映させることが基準であると考えました。



お客様紹介：小菅プログラム副委員長

本日のお客様
 ガバナー補佐：川上伸夫様（松戸西RC）
 第一補佐幹事：関口 弘様（松戸西RC）

今週のニコニコBOX

ガバナー補佐川上伸夫様・第一補佐幹事関口弘様
 長島会長・高橋幹事一年間頑張ってください。私たち共々応援します。補佐も頑張ります。
 吉田俊一会員：この年になって初めて生のサッカーを観ました。ナビスコカップ 準々決勝、柏対G大阪戦幸い凛しく快勝でした。開戦前にレイソルのU18優勝、U12 準優勝の報告セレモニーがあったからです。韓国の全国大会では優勝し金メダルをもらってきました。
 正司 進会員：女房の誕生祝いありがとうございました。

国際ロータリー第2790地区第12分区

松戸北ロータリークラブ



四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
- 1・真実かどうか
 - 2・みんなに公平か
 - 3・好意と友情を深めるか
 - 4・みんなのためになるかどうか

第1930回 例会 2012年 8月21日(火)

- | | | |
|----------------|-------|--|
| ■国際ロータリー会長 | 田中 作治 | ■例会日 - 毎週火曜日12:30より (第1例会18:30) |
| ■第2790地区ガバナー | 得居 仁 | ■例会場 - 松戸市根木内249-7 北小金ボウル1F |
| ■第12分区ガバナー補佐 | 川上 伸夫 | ■事務所 - 松戸市根木内249-7 榊山安内 |
| ■松戸北ロータリークラブ会長 | 長島 正巳 | ■TEL/FAX- 047-344-5696 / 047-344-5696 |
| ■松戸北ロータリークラブ幹事 | 高橋 一彦 | ■Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp |

会長挨拶 長島正巳

熱く燃えたロンドンオリンピックも終り、幾つかの感動と勇気を貰った17日間でしたが、皆さんはどの様に感じたでしょうか？

大きなプレッシャーに立ち向かいメダルを獲得した選手、その勝利の陰には多くの人々の助けがあった事と思います。

スポーツを通じて平和な世界を訴える多くの選手の姿がそこには有りました。

グアテマラの選手の言葉が印象的でした。「自国の子供達が武器を置き、スニカーに履き替えて欲しい。」1960～1996年36年間の内戦で約20万人以上の国民を失った国の選手がオリンピックに望んだものそれは「平和」だったのでしょ。

勇気と希望そして平和をもたらしてくれたオリンピック2020年には是非日本で開催される事を望んでいます。

さて、本日は第2790地区第12分区のガバナー補佐の松戸西ロータリークラブの川上様がお見えになっております。

新年度がスタートし1ヶ月半が経過しました。本日は得居ガバナーの本年度に掛ける方針等のお話を戴ける事と思います。

また、例会終了後、クラブ協議会を予定しております。先日、お話いたしました様に、本日の協議会は、例年度協議会形式とは違った事項にしたいと考え、従来の委員長による事業計画の発表では無く、各委員の日に於ける作業等の再認識をお願いしたく、委員会毎に分かれ、各自意見の交換会にしたいと思っておりますので、例会終了後は全員で協議会に臨んで頂きたいと思っております。

本年度は「当たり前の事を、当たり前」こなして行きましょう。

以上

幹事報告 高橋一彦

財) 米山梅吉記念館より館報20号が事務局に届いておりますのでクラブ内で輪読していただきたいとのことでした。

又、秋季例祭を平成24年9月15日(土)14時より米山梅吉記念館ホールにて執り行います。是非お誘いあわせの上ご参加ください。



第12分区 川上伸夫ガバナー補佐挨拶

田中作治RI会長は、2012-2013年度RIテーマを「奉仕を通じて平和を」と定め、2790地区の得居 仁ガバナーは、このテーマを踏まえ6つの要望事項の「ロータリーの目的である職業奉仕の推進を目指す事」を第一番目の要望としてかかっています。

ガバナーが職業奉仕にこだわるのは、多分ご自分が命を懸けた大病を患い、医師と看護師に救われた実感から生まれたのではないかと思います。実感から湧き出る職業奉仕の考えは、本質をつくからです。

私は、十数年前から自社より最寄駅まで約200m位の通勤路を週2回、約15分程度ゴミ拾いをしています。

それも最初は、お掃除をすると「売上げが上がるのか?」「お金が手に入るのか?」そんな気持ちでしょうがなくなりましたが、キレイにする事を続けていると、最初は「やってあげる」⇒「やらせてもらう(キレイだと腹が立ってくる)」⇒そして「遣らせて頂く」段々と気持ちが変わりました。

そのうち、近くを行き交う人が声をかけてくださる。・・・そんな時はまだ役に立つんだ。生きて良いのだと心から安心する。

ゴミを拾った人にしか解らない事ですが、実は、掃除をすると得をする事があるので、是非やってみてください。

拾うと自分の中で何かが起る。・・・ゴミ一つ捨てると、大切な何かを1つ捨てている。・・・掃除をしてキレイな一日を過ごす、汚れたままでいるのが気持ち悪い。今までゴミが落ちててもなぜ気づかなかったのか?掃除をする習慣の前と後で、自分の中にも何か変化が起こっているのは「実感」でわかる。

掃除をする。すると汚いところに気が付く、その気づく、日ごろの仕事の「気付き」にも活かされる。すると、お客様がファンになってくださる=仕事が増える。

だけど「売上げが上がるから拾おうとか、お金が入るから拾おう」と思ったとたん、売上げが上がらなくなる。

マザーテレサの言葉

商売とは単に売り買いの事だけではなく、自分のできることが人の力となる事でもある。お互いがお互いを必要とする事で様々な商売が存在し、また成立する。

